

ティーガイアの 今後の展開に関する Q&A

Q1 中国における携帯電話販売事業等の展開について、教えてください。

A1 平成23年12月、上海市内にチャイナユニコムの携帯電話ショップを3店舗オープンいたしました。既存の2店舗と合わせて現在5店舗ですが、平成24年中に更に5店舗を新設し、合計10店舗体制を確立する予定です。一方、法人部門におきましては商社系グループ企業を中心に、日本企業の取引先を継続的に開拓すると共に、国内で既に実績を上げております携帯電話の管理業務等の受託を推進してまいります。



Q2 ソリューション事業セグメント新設の背景は何ですか？

A2 コンシューマー市場に続き今後は法人向け市場においても、スマートフォンやタブレット端末の普及が本格化し、多様なデバイスやアプリケーション等を活用したソリューションサービスが進展する見込みです。このような事業環境を背景に、平成24年3月期まで「モバイル事業」に含めておりました法人向けの携帯電話販売事業等と従来の「ネットワーク事業」を「ソリューション事業」として新たに統合し、平成25年3月期よりセグメント区分を「モバイル事業」「ソリューション事業」「決済サービス事業他」に変更いたします。今後は法人向けサービスを更に強化し、ソリューションパッケージの提供等を通じて、企業顧客を総合的にサポートしてまいります。



Q3 決済サービス事業における今後の取組みについて、知りたいです。

A3 Web上での電子決済額は引き続き増加傾向となり、電子マネー系のPINに加えて、平成23年5月に販売を開始したギフトカードの需要も本格化が予測される中、12月にはカードタイプのAmazon®ギフト券(*)の取扱いを始めました。さらに、本年4月には「GREEプリペイドカード」および「Android厳選アプリ」

シリーズの人気商品もラインナップに加わりました。当社は今後も、ギフトカード事業における取扱い商材や販売チャネルの多様化を図り、お客様の利便性向上に努める所存です。

(*) Amazon, Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

● グリー社運営のSNS「GREE」の中で、有料アイテム購入に必要な「GREE」のコイン(仮想通貨)をカード化した「GREEプリペイドカード」の取扱いを開始。



※GREEは、グリー株式会社の登録商標です。

● 携帯ショップへの展開：ソースネクスト社のプリペイド型Android™スマートフォン向けアプリをカード形式で販売開始。

コピーライト表記©SOURCENEXT CORPORATION



※Androidはグーグル インコーポレイテッドの登録商標です。

STOCK INFORMATION 当社株式について

自己株式の取得と消却

資本効率の向上と株主利益の増大を図るべく、平成23年4月の91,000株に続いて、平成24年5月17日に26,985株の自己株式を取得し、同年5月31日付で合計117,985株の消却を実施いたしました。これにより発行済株式数は394,434株となりました。

株式分割および単元株制度の導入

平成24年9月30日を基準日、同年10月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割の実施を予定しております。また、株式分割と同時に、100株を1単元とする単元株制度を採用いたします。これにより投資単位を実質的に2分の1に引き下げ、株式の流動性と投資家層の拡大を図ってまいります。